

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌CPT-11+CDDP

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 イリノテカン(CPT-11)	60mg/m ²	点静	120	↓																																
2 シスプラチン(CDDP)	60mg/m ²	点静	120	↓																																
3																																				
4																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静	6.6mg	↓ ↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14又は28日	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用		白血球減少、腎機能障害、下痢																																		
☆副作用対策		必要に応じてG-CSF、十分な補液で利尿																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2,000、Seg<1,000、Cr>1.5																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=胃癌3週毎DOC

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ドセタキセル(DOC)	60mg/m ²	点静	60	↓																																
2																																				
3																																				
4																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓ ↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21~28日	クール回数		* JCOG副作用判定基準 Grade2																																
休薬期間	14~21日																																			
☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少																																		
☆副作用対策		減量投与																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000 (Seg<1000) 重篤な血液毒性などの副作用 貧血 Grade2																																		

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 胃癌WeeklyPTX

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 ____ 月 ____ 日
 今回 [_____]クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	90	↓																				休														
2																																						
3																																						
4																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																		
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																		
	ボラミン	5mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
	1クール期間	28日	クール回数																																			
	休薬期間																																					
	☆予想される 重篤副作用		白血球減少、アレルギー反応(発疹、発熱、搔痒 等)、末梢神経障害																																			
	☆副作用対策		投薬 アレルギー反応の場合、入院に切り替えて、前日から前投薬開始。																																			
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000(Seg<1000)、入院化療でもでも強いアレルギーの出現した場合。																																			

エンボス

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌WeeklyPTX+RAM

（対象疾病 = _____）

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 パクリタキセル (PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																		
2 サイラムザ (RAM)	8mg/kg	点静	60	↓																																		
3																																						
4																																						
前投薬																																						
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																		
ファモチジン	20mg	点静		↓																																		
ボラミン	5mg	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日		クール回数																																			
休薬期間																																						

※RAM投与後の観察期間(60分)はinfusion reactionの発現なければ3クール目以降は省略可
 ※サイラムザは初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】

☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔創傷治療障害、うっ血性心不全(サイラムザ)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(サイラムザ)
☆実施中止条件	生化学項目 = 好中球 < 1500、血小板 < 10万 (各クール初回) 末梢神経障害

(サイラムザ休薬基準) G: Grade

- 手術を予定している患者、創傷治療による合併症
- 症候性G2以上の高血圧、1日尿蛋白量2g以上3g未満

(サイラムザ中止基準)

- 動静脈血栓塞栓症、G3以上のinfusion reaction、消化管穿孔
- G3以上の出血、うっ血性心不全、瘻孔
- 可逆性後白質脳症症候群
- 降圧剤治療してもコントロールできない症候性G2以上の高血圧
- 1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌RAM

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	
-----	--

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1	サイラムザ(RAM)	8mg/kg	点静	60	↓																																
2																																					
3																																					
4																																					
前投薬	ポララミン	5mg	点静		↓																																
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間		14日		クール回数		※RAM投与後の観察期間(60分)はinfusion reactionの発現なければ3クール目以降は省略可 ※サイラムザは初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																															
休薬期間																																					

【備考】	
☆予想される重篤副作用	血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔創傷治癒障害、うっ血性心不全(サイラムザ)
☆副作用対策	適正使用ガイド参照(サイラムザ)
☆実施中止条件	sBP ≥ 160、dBP ≥ 100、尿蛋白 ≥ 2+

(サイラムザ休薬基準)	G: Grade
・手術を予定している患者、創傷治癒による合併症 ・症候性G2以上の高血圧、1日尿蛋白量2g以上3g未満 (サイラムザ中止基準) ・動静脈血栓塞栓症、G3以上のinfusion reaction、消化管穿孔 ・G3以上の出血、うっ血性心不全、瘻孔 ・可逆性後白質脳症症候群 ・降圧剤治療してもコントロールできない症候性G2以上の高血圧 ・1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌3週毎nab-PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 アブラキサン(nab-PTX)	260mg/m ²	点静	30	↓																														
2																																		
3																																		
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	13.2mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数																																
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、末梢神経障害																																
☆副作用対策																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球<1500 あるいは血小板<100,000																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌Weekly nab-PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 アブラキサン(nab-PTX)	100mg/m ²	点静	30	↓																															
2																																			
3																																			
4																																			
前投薬	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																															
投与日程																																			
副作用																																			
	1クール期間	28日	クール回数																																
	休薬期間																																		
	☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、末梢神経障害																																
	☆副作用対策																																		
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Day1: 好中球<1500 あるいは血小板<100,000 Day8、15: 好中球<1000 あるいは血小板<75,000																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌CPT-11【A法】

（対象疾病＝ _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ²)	投与法	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 イリノテカン(CPT-11)	100mg/m ²	点静	120	↓																																		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 13.2mg	点静 点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、下痢・嘔吐、腸炎、消化管出血、間質性肺炎																																				
☆副作用対策		補液、制吐剤																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、高度な下痢など																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=胃癌Q-LV+5FU

（対象疾病=）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= cm
 体重= kg
 体表面積= m²
 Ccr =

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120	↓																														
2 5-FU	600mg/m ²	点静	全開	↓																														
1)開始1時間後に5-FU開始				31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120						↓																									
2 5-FU	600mg/m ²	点静	全開						↓																									
前投薬																																		
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	56日																																	
休薬期間	(6週投与2週休薬)		クール回数																															
☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少、下痢、口内炎																																
☆副作用対策		それぞれ投薬(G-CSF、止しゃ剤)で対処。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000(Seg<1000)																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌ニボルマブ

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr = _____

担当医	
-----	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 オプジーボ(ニボルマブ)	240mg/body	点静	30	↓																																
2																																				
3																																				
4																																				
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間 休薬期間	14	クール回数																																		
☆予想される重篤副作用				Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病 神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症																																
☆副作用対策				必要時ステロイド(詳細は適正使用ガイド参照)																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			Infusion reactionおよびGrade3以上の副作用																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌m-FOLFOX6

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面积 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓ (2日間継続して投与)																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	14日	クール回数																																				
休薬期間	(1回/2週)																																					
☆予想される重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																				
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害																																				

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 胃癌m-FOLFOX6アレルギーレジメン

(対象疾病 =)

身長 = _____ cm
体重 = _____ kg
体表面積 = _____ m²
Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
今回 [_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
1 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																					
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																					
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																					
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																					
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																					
	ボラミン	1A	点静	↓																																					
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																					
投与日程																																									
副作用																																									
1クール期間 休薬期間	14日 (1回/2週)	クール回数																																							
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																							
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																							
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害																																							

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌ペムプロリズマブ

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
体重＝ _____ kg
体表面積＝ _____ m²
Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 キイトルーダ(ペムプロリズマブ)	200mg/body	点静	30	↓																																
2																																				
3																																				
4																																				
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用				Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害等																																
☆副作用対策				対症療法、減量、休薬、Infusion reactionの対策は適正使用ガイド参照																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			間質性肺疾患:Grade2、大腸炎:Grade2又は3、肝機能障害:ASTもしくはALTが基準値上限の3-5倍又は総ビリルビン値が基準値上限の1.5-3倍に増加した場合、腎機能障害:Grade2、内分泌障害:下垂体炎Grade2、甲状腺機能障害:Grade3、高血糖又は1型糖尿病Grade2、Infusion reaction:Grade2、その他の副作用:Grade4 ※詳細は適正使用ガイドにおける中止基準を参照																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌T-DXd

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 エンハーツ	6.4mg/kg	点静	90※	↓																												
2 (トラスツスマブ テルクステカン)																																
3																																
4																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																												
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数		※エンハーツは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、30分で点静可能。																												
☆予想される重篤副作用		間質性肺炎、骨髄抑制、Infusion reaction																														
☆副作用対策		適正使用ガイド参照																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	添付文書の副作用に対する休薬、減量及び中止基準を参照																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = **[NAC]胃癌S-1+CDDP**

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____]クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 シスプラチン(CDDP)	60mg/m ²	点静	120																																					
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																		
体表面積																																								
★S-1	1.25m ² 未満 1.25~1.5m ² 未満 1.5m ² 以上	40mg × 2回/日 50mg × 2回/日 60mg × 2回/日																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 13.2mg	点静 点静							↓	↓																													
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	28日	クール回数																																						
休薬期間	7日	2~3																																						
☆予想される重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気																																						
☆副作用対策		補液、利尿剤、制吐剤																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、腎機能障害など																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌S-1+CDDP

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1 シスプラチン(CDDP)	60mg/m ²	点静	120																																				
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																	
体表面積																																							
★S-1	1.25m ² 未満 1.25~1.5m ² 未満 1.5m ² 以上	40mg × 2回/日 50mg × 2回/日 60mg × 2回/日																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 13.2mg	点静 点静							↓	↓																												
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	35日	クール回数																																					
休薬期間	14日																																						
☆予想される重篤副作用				腎機能障害、骨髄抑制、嘔気																																			
☆副作用対策				補液、利尿剤、制吐剤																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			重篤な骨髄抑制、腎機能障害など																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌S-1+CDDP[変法]

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 []クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 シスプラチン(CDDP)	70mg/m ²	点静	120																																	
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																					
体表面積																																				
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																			
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																			
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	点静 点静												↓	↓																					
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	28日	クール回数	制限なし																																	
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気																																		
☆副作用対策		補液、利尿剤、制吐剤																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、腎機能障害など																																		

エンボス

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 胃癌S-1+CPT-11 [A法]

(対象疾病 =)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)														休薬 7日					休薬 14日																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 イリノテカン(CPT-11)	80mg/m ²	点静	120	↓											↓																									
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																								
	体表面積																																							
	★S-1 1.25m未満	40mg×2回/日																																						
	1.25~1.5m未満	50mg×2回/日																																						
	1.5m以上	60mg×2回/日																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓											↓																									
	デキサメタゾン	13.2mg	点静	↓											↓																									
投与日程																																								
副作用																																								
	1クール期間	21~28日	クール回数																																					
	休薬期間	7~14日																																						
	☆予想される重篤副作用			骨髄抑制、下痢・嘔吐、腸炎、消化管出血、間質性肺炎																																				
	☆副作用対策			補液、制吐剤																																				
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		重篤な骨髄抑制、高度な下痢など																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌S-1+CPT-11[B法]

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日
今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm
体重 = _____ kg
体表面積 = _____ m²
Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ²)	投与法	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1 イリノテカン(CPT-11)	80mg/m ²	点静	120	↓																																			
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																
体表面積																																							
★S-1	1.25m ² 未満 40mg×2回/日 1.25~1.5m ² 未満 50mg×2回/日 1.5m ² 以上 60mg×2回/日																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓													↓																						
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	35日	クール回数																																					
休薬期間																																							
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、下痢・嘔吐、腸炎、消化管出血、間質性肺炎																																					
☆副作用対策		補液、制吐剤																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、高度な下痢など																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌 S-1+DOC

（対象疾病 = _____）

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 ドセタキセル(DOC)	40mg/m ²	点静	60以上	↓																																				
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																									
体表面積																																								
★S-1	1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																						
	1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																						
	1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	3.3~6.6mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
	1クール期間	21日	クール回数																																					
	休薬期間																																							
	☆予想される重篤副作用		白血球減少、好中球減少、口内炎、貧血、食欲不振																																					
	☆副作用対策		G-CSF投与、減量。																																					
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Cr > 2.0、WBC < 2,000																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌S-1+PTX

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)														休薬7日					休薬14日																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 パクリタキセル (PTX)	80mg/m ²	点静	120	↓																		休																	
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
体表面積																																							
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																						
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																						
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																			
	デキサメタゾン	8.25mg	点静	↓																																			
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																			
	ポラミン	5mg	点静	↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	2週投与1週休薬	どちらも可																																					
休薬期間	2週投与2週休薬																																						
☆予想される重篤副作用		白血球減少、アレルギー反応、末梢神経障害(主にPTX) 食欲低下、眠気、口内炎、色素沈着、など(主にTS-1)																																					
☆副作用対策		減量、アレルギーに対しては前投薬の強化。																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 2000 (Seg < 1000) 強いアレルギー反応の出現。																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌XP

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm

体重＝ kg

体表面积＝ m²

Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 点静 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 シスプラチン(CDDP)	80mg/m ²	点静	120	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
2 ゼロータ(CAP):C法 体表面积	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg×2回/日																																		
1.36～1.66m ² 未満	1,500mg×2回/日																																		
1.66～1.96m ² 未満	1,800mg×2回/日																																		
1.96m ² 以上	2,100mg×2回/日																																		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 ラジックス デキサメタゾン		点静 点静 点静		↓	↓																														
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	21日	クール回数																																	
休薬期間																																			
☆予想される 重篤副作用			腎機能障害、骨髄抑制、嘔気																																
☆副作用対策			対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		WBC<3,000（好中球<2,000） 末梢神経障害、手足症候群																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》胃癌XP+HER

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 月 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	8mg/kg※	点静	90	↓																											
2 シスプラチン(CDDP)	80mg/m ²	点静	120	↓																											
3 ゼローダ(CAP): G法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓										
★ゼローダ				(ゼローダ内服: 第1日目午後~15日目午前)																											
★ゼローダ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																														
1.36~1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																														
1.66~1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																														
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン		点静 点静		↓ ↓																											
投与日程																															
副作用																															

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気	
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000（好中球<2,000） 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 《2クール目以降》胃癌XP+HER

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

--	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21																		
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	60	↓																																						
2 シスプラチン(CDDP)	80mg/m ²	点静	120	↓																																						
3 ゼロータ(CAP): C法 体表面積 ★ゼロータ 1.36m ² 未満 1.36~1.66m ² 未満 1.66~1.96m ² 未満 1.96m ² 以上	2,000mg/m ² * 1,200mg × 2回/日 1,500mg × 2回/日 1,800mg × 2回/日 2,100mg × 2回/日	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
				(ゼロータ内服: 第1日目午後~15日目午前)																																						
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン		点静 点静		↓ ↓																																						
投与日程																																										
副作用																																										

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気	
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=胃癌DCS

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回[]クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 タキソール(DOC:ドセタキセル)	60mg/m ²	点静	60																																		
2 シスプラチン(CDDP)	60mg/m ²	点静	120																																		
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
体表面積																																					
★S-1 1.25m未満	40mg×2回/日																																				
1.25~1.5m未満	50mg×2回/日																																				
1.5m以上	60mg×2回/日																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静																																		
	デキサメタゾン	9.9mg	点静																																		
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数		* JCOG副作用判定基準 Grade3, 4																																	
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用				好中球減少、悪心、食欲不振、下痢、口内炎、腎障害																																	
☆副作用対策				G-CSF製剤投与、制吐剤投与、利尿剤投与																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			好中球<1500																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌SOX

（対象疾病＝　　　　　　　）

《初回開始日》　　年　　月　　日
 今回〔　　〕クール目

身長＝　　cm
 体重＝　　kg
 体表面積＝　　m²
 Ccr　＝　　

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 オキサリプラチン	100mg/m ²	点静	120	↓																				
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓									
★S-1	体表面積																							
	1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																						
	1.25～1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																						
	1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																				
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																				
投与日程																								
副作用																								
1クール期間	21日	クール回数																						
休薬期間																								
☆予想される重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性、手足症候群																						
☆副作用対策		補液、制吐剤																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000（好中球<2,000） 末梢神経障害、手足症候群																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》胃癌SOX+HER

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	8mg/kg※	点静	90	↓																													
2 オキサリプラチン	100mg/m ²	点静	120	↓																													
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																		
体表面積																																	
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																													
投与日程																																	
副作用																																	

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、嘔気など 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン) 末梢神経障害、手足症候群	
☆副作用対策		制吐剤など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》胃癌SOX+HER

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	60	↓																				
2 オキサリプラチン	100mg/m ²	点静	120	↓																				
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓										
体表面積																								
★S-1	1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																						
	1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																						
	1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																				
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																				
投与日程																								
副作用																								

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、嘔気など 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン) 末梢神経障害、手足症候群	
☆副作用対策		制吐剤など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝ 《2クール目以降》胃癌SOX+HERアレルギーレジメン

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg*	点静	60	↓																												
2 オキサリプラチン	100mg/m ²	点静	240	↓																												
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																
体表面積																																
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																															
1.25～1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																															
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																															
前投薬																																
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																												
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																												
ファモチジン	20mg	点静		↓																												
ポフファミン	5mg	点静		↓																												
投与日程																																
副作用																																

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、嘔気など 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction（ハーセプチン） 末梢神経障害、手足症候群	
☆副作用対策		制吐剤など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など WBC<3,000（好中球<2,000） 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌SOX+ニボルマブ

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30											
1 オプジーボ(ニボルマブ)	360mg/body	点静	30	↓																																								
2 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	120	↓																																								
3 S-1	80mg/m ² *	経口	/	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																													
体表面積																																												
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																											
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																											
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																											
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																																								
投与日程																																												
副作用																																												
1クール期間	21日	クール回数																																										
休薬期間																																												
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性、手足症候群 Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病 神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症																																										
☆副作用対策		補液、制吐剤 必要時ステロイド(詳細は適正使用ガイド参照)																																										
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3, 000 (好中球 < 2, 000) 末梢神経障害、手足症候群 Infusion reactionおよびGrade3以上の副作用																																										

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胃癌XELOX

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	120	↓																												
2 ゼロータ(CAP):C法	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓									
体表面積				(ゼロータ内服:第1日目午後～15日目午前)																												
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																															
1.36～1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																															
1.66～1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																															
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静		↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数	※	※術後補助化学療法の場合、原則8クールまで。																												
休薬期間																																
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性、手足症候群																														
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=胃癌XELOXアレルギーレジメン

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	240	↓																																	
2 ゼロータ(CAP):C法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																																				
1.36~1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																																				
1.66~1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																																				
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																	
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																	
	ボラフィン	1A	点静	↓																																	
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数	※	※術後補助化学療法の場合、原則8クールまで。																																	
休薬期間																																					
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性、手足症候群																																			
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》胃癌XELOX+HER

（対象疾病 = _____）

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	
-----	--

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	8mg/kg※	点静	90	↓																														
2 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	120	↓																														
3 ゼローダ(CAP):C法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		(ゼローダ内服:第1日目午後~15日目午前)																														
★ゼローダ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																																	
1.36~1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																																	
1.66~1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																																	
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																																	
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、嘔気 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン) 末梢神経障害、手足症候群	
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬、制吐剤など 手足症候群対策...保湿剤、ビタミンB6内服など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》胃癌XELOX+HER
 （対象疾病＝_____）

《初回開始日》_____年 月 日
 今回〔 _____〕クール目

身長＝_____ cm
 体重＝_____ kg
 体表面積＝_____ m²
 Ccr ＝_____

担当医	
-----	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	60	↓																				
2 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	120	↓																				
3 ゼロータ(CAP): C法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
				(ゼロータ内服: 第1日目午後～15日目午前)																				
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																							
1.36～1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																							
1.66～1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																							
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																							
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																				
投与日程																								
副作用																								

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用			骨髄抑制、嘔気 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン) 末梢神経障害、手足症候群
☆副作用対策			対症療法と減量又は休薬、制吐剤など 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		重篤な骨髄抑制など WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》胃癌XELOX+HERアレキ[®]-レジメン

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医 _____

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	60	↓																												
2 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	240	↓																												
3 ゼロータ(CAP):C法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																															
1.36~1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																															
1.66~1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																															
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																															
前投薬				↓	↓	↓																										
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																												
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																												
ファモチジン	20mg	点静		↓																												
ホフリン	5mg	点静		↓																												
投与日程																																
副作用																																

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、嘔気 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction(ハーセプチン) 末梢神経障害、手足症候群	
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬、制吐剤など 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害、手足症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 胃癌CDDP[腹腔内]

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 シスプラチン(CDDP)	50mg/body	腹腔内注入	↓																														
2																																	
3																																	
4																																	
前投薬																																	
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	14日	クール回数																															
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用		白血球減少、血小板減少、腎障害																															
☆副作用対策																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 食道癌FP

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35											
1 5-FU	400mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓																																		
2 シスプラチン(CDDP)	40mg/m ²	点静	150	↓								↓																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン デキサメタゾン	1A 点静 点静 点静		↓								↓																																					
投与日程																																																	
副作用																																																	
1クール期間	35日	クール回数		* JCOG副作用判定基準 Grade3, 4																																													
休薬期間																																																	
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、腎障害、下痢、嘔気・嘔吐、口内炎、食道炎など																																															
☆副作用対策		シスプラチン投与時は3,000mL以上の補液と利尿に努める。																																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Grade4の血液毒性、Grade3, 4の非血液毒性																																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌FP+Rx (RTOG)

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 5-FU	1000mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓																																	
2 シスプラチン(CDDP)	75mg/m ²	点静	120	↓																																				
Rx(50.4Gy)	1.8Gy/回		28回																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 1A	点静		↓																																				
	デキサメタゾン 9.9mg	点静		↓																																				
	デキサメタゾン 6.6mg	点静			↓	↓																																		
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	28日	クール回数	※4	※放射線治療は2クール目まで併用。3クール目以降は化学療法のみ。																																				
☆予想される重篤副作用		急性期毒性(悪心・嘔吐、腎障害、骨髄抑制、食道炎) 晩期毒性(間質性肺炎、胸水・心嚢水、心膜炎)																																						
☆副作用対策		補液・利尿 5HT ₃ 拮抗薬、ステロイド、NK ₁ 拮抗薬																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Grade4の血液毒性、Grade3の非血液毒性																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌低用量FP

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)														28日投与の場合																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 5-FU	250~500mg/body	持続点滴	1440	↓	↓	↓	↓	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	↓	↓	↓	↓	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 シスプラチン(CDDP)	10mg/body	点静	30	↓	↓	↓	↓	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	↓	↓	↓	↓	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
* 原則として土日2日間休薬 * 放射線療法を併用する場合もあり																																					
前投薬																																					
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	14又は28日 ※	クール回数	※	※放射線療法を併用する場合は、放射線療法の治療日程によって変動する。																																	
休薬期間	※																																				
☆予想される重篤副作用		白血球減少、嘔気、腎機能障害(少ない)、口内炎																																			
☆副作用対策		G-CSF使用、持続点滴による補液、利尿、対症療法																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	白血球数 < 2,000 (好中球 < 1,000) Cr > 1.5																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌高用量FP

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 5-FU	800mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓	↓																									
2 シスプラチン(CDDP)	80mg/m ²	点静	150	↓																													
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 1A デキサメタゾン 9.9mg デキサメタゾン 6.6mg	点静 点静 点静		↓ ↓ ↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	21日	クール回数	2~4	* JCOG副作用判定基準 Grade3, 4																													
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、腎障害、下痢、嘔気・嘔吐、口内炎など																															
☆副作用対策		補液、利尿、G-CSF																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 2000 (好中球 < 1000)、腎機能障害など																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝食道癌DOC

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ドセタキセル(DOC)	70mg/m ²	点静	60	↓																												
2																																
3																																
前投薬	デキサメタゾン 5-HT ₃ 拮抗薬	6.6mg 1A	点静 点静	↓ ↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21～28日	クール回数																														
休薬期間																																
☆予想される重篤副作用		白血球減少、アナフィラキシー様反応、肝不全、心不全、間質性肺炎																														
☆副作用対策		前投与薬で対処、投与延期、減量等 ※アルコール過敏がある場合は、タキソテール(ドセタキセル)の溶剤は生食を使用																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝食道癌DOC+5FU

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ドセタキセル(DOC)	10mg/m ²	点静	60	↓							↓																											
2 5-FU	250mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓	↓	↓	↓										
Rx	2Gy/day			↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓	↓	↓	↓										
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓							↓													↓														
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓							↓													↓														
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日	クール回数		▶ 原則放射線治療と併用し、1クールで終了。																																		
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用		白血球減少、口内炎																																				
☆副作用対策		G-CSF投与、減量。																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Cr>2.0、WBC<2,000																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌DCF

(対象疾病 =)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 ドセタキセル(DOC)	60mg/m ²	点静	120	↓																													
2 シスプラチン(CDDP)	60mg/m ²	点静	120	↓																													
3 5-FU	600mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓	↓																									
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン デキサメタゾン	1A 点静 点静 点静		↓ ↓ ↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	21日	クール回数	3	* JCOG副作用判定基準 Grade3, 4																													
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用		好中球減少、悪心、食欲不振、下痢、口内炎																															
☆副作用対策		G-CSF製剤投与、制吐剤投与																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 1500、好中球 < 500																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=食道癌PTX[B法]

（対象疾病= _____ ）

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	...	7	8	9	...	14	15	16	...	21	22	23	...	28	29	30	...	35	36	37	56	
1 パクリタキセル(PTX)	100mg/m ²	点静	90	↓				↓					↓					↓					↓					↓					
前投薬 デキサメタゾン ファモチジン ポラミン	6.6mg 20mg 5mg	点静 点静 点静		↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓					↓ ↓ ↓					↓ ↓ ↓					↓ ↓ ↓					↓ ↓ ↓					
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	56日		クール回数																														
休薬期間	(6週投与2週休薬)																																
☆予想される重篤副作用	白血球減少、アレルギー反応（発疹、発熱、掻痒 等）、末梢神経障害																																
☆副作用対策	投薬 アレルギー反応の場合、入院に切り替えて、前日から前投薬開始。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000 (Seg<1000)																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=食道癌5-FU+ネダプラチン

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1 5-FU	800mg/m ²	持続点滴	1,440	↓	↓	↓	↓	↓																															
2 ネダプラチン	90mg/m ²	点静	120	↓																																			
前投薬																																							
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																			
デキサメタゾン	9.9mg	点静		↓																																			
デキサメタゾン	6.6mg	点静			↓	↓	↓																																
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	28日	クール回数																																					
休薬期間																																							
☆予想される重篤副作用		好中球減少、血小板減少、口内炎、悪心・嘔吐、下痢																																					
☆副作用対策		5HT ₃ 拮抗薬、ステロイド、NK1拮抗薬、制吐剤投与																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000、PLT<50000:延期し減量 SCr>2:中止																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌m-FOLFOX6

(対象疾病 =)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																								
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																					
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																					
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																					
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																					
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																					
投与日程																																									
副作用																																									
1クール期間	14日	クール回数																																							
休薬期間	(1回/2週)																																								
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																							
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																							
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																																							

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌m-FOLFOX6 **アレルギーレジメン**

（対象疾病 = _____）

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																
1 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																													
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																													
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																													
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓ ↓	(2日間継続して投与)																												
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																													
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																													
	ポラミン	1A	点静	↓																													
	ファモチジン	20mg	点静	↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	14日	クール回数																															
休薬期間	(1回/2週)																																
☆予想される重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																															
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 食道癌m-FOLFOX6<インフューザーポンプ用>

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
2オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																
35-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
45-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																																
前投薬																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14日		クール回数																																	
休薬期間	(1回/2週)																																			
☆予想される 重篤副作用			末梢神経毒性、血液毒性																																	
☆副作用対策			対症療法と減量又は休薬																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝食道癌m-FOLFOX6~~アレルギ~~-用<インフューザーポンプ用>

（対象疾病＝ _____ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																			
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																			
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																			
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																			
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																			
	ポラミン	1A	点静	↓																																			
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	14日	クール回数																																					
休薬期間	(1回/2週)																																						
☆予想される重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																					
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																																					

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 食道癌ニボルマブ

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
体重 = _____ kg
体表面積 = _____ m²
Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 オプジーボ(ニボルマブ)	240mg/body	点静	30	↓																																	
2																																					
3																																					
4																																					
前投薬																																					
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	14	クール回数																																			
休薬期間																																					
☆予想される 重篤副作用				Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病 神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症																																	
☆副作用対策				必要時ステロイド(詳細は適正使用ガイド参照)																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			Infusion reactionおよびGrade3以上の副作用																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 膀胱癌GEM+nab-PTX

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ゲムシタビン(GEM)	1,000mg/m ²	点静	30	↓																																	
2 アブラキサン(nab-PTX)	125mg/m ²	点静	30	↓																																	
3																																					
4																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																	
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	28日		クール回数																																		
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用		末梢神経障害、感染症、間質性肺疾患、悪心・嘔吐 骨髄抑制、脳神経麻痺、黄斑浮腫																																			
☆副作用対策		点滴速度(30分)厳守 減量・休薬、投与の中止																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	各コース開始時:好中球数<1,500、血小板数<100,000 同一コース内:好中球数<500、血小板数<50,000 末梢神経障害 Grade3以上																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 膀胱癌mFOLFIRINOX

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																			
2 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																			
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	90	↓																																			
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																	
5																																							
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、下痢・腸炎、悪心・嘔吐、食欲不振、末梢神経障害、アナフィラキシー	
☆副作用対策		休薬、G-CSF投与、制吐剤の予防投与、UGT1A1検査	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球<1500、PLT<7.5万、アナフィラキシー出現時は原則禁忌	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 膀胱癌mFOLFIRINOX<<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	
-----	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
2 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	90	↓																																		
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																		
5																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、下痢・腸炎、悪心・嘔吐、食欲不振、末梢神経障害、アナフィラキシー	
☆副作用対策		休薬、G-CSF投与、制吐剤の予防投与、UGT1A1検査	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球 < 1500、PLT < 7.5万、アナフィラキシー出現時は原則禁忌	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 膵臓癌nal-IRI+5-FU+l-LV

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 オニバイド (nal-IRI)	70mg/m ²	点静	90	↓																																	
2 レボホリナート (l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																															
4																																					
5																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、下痢	
☆副作用対策		対症療法と減量または休薬	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球<1500、PLT<10万、発熱性好中球減少症	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝膵臓癌nal-IRI+5-FU+l-LV<インフルエンザ・ホソフ>使用

(対象疾病＝)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1	オニバイド®(nal-IRI)	70mg/m ²	点静	90	↓																																
2	レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3	5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2760	↓																																
4																																					
5																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 9.9mg	点静 点静		↓ ↓																																
投与日程																																					
副作用																																					

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、下痢	
☆副作用対策		対症療法と減量または休薬	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球<1500、PLT<10万、発熱性好中球減少症	

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 胆道癌GEM+CDDP
 (対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ゲムシタビン(GEM)	1,000mg/m ²	点静	30	↓																																	
2 シスプラチン(CDDP)	25mg/m ²	点静	120	↓																																	
3																																					
4																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静	↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数																																			
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気																																			
☆副作用対策		GEM;点滴速度(30分)厳守 投与延期、8割の投与量に減量。 補液、利尿剤、制吐剤																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、腎機能障害など																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝胆道癌GEM+CDDP+S-1

(対象疾病＝)

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ゲムシタビン(GEM)	1,000mg/m ²	点静	30	↓																														
2 シスプラチン(CDDP)	25mg/m ²	点静	120	↓																														
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓																									
体表面積 ★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																	
1.25～1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																	
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	14日	クール回数																																
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		腎機能障害、骨髄抑制、嘔気、食欲不振、下痢、口内炎など																																
☆副作用対策		GEM; 点滴速度(30分)厳守 補液、利尿剤、制吐剤投与延期、減量。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制、腎機能障害など																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 【NAC】膵臓癌S-1+GEM

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ゲムシタピン(GEM)	1000mg/m ²	点静	30	↓																												
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																	
体表面積																																
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																															
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																															
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓								↓																				
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数																														
休薬期間																																
☆予想される 重篤副作用		骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎など																														
☆副作用対策		減量投与																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 2000、Hb < 8、Plt < 50000、T.B > 3.0、AST > 190、ALT > 220、Cre > 1.65																														

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 膵臓癌・胆道癌S-1+GEM

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 ゲムシタピン(GEM)	1000mg/m ²	点静	30	↓																																			
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																							
体表面積																																							
★S-1 1.25m ² 未満				40mg×2回/日																																			
1.25~1.5m ² 未満				50mg×2回/日																																			
1.5m ² 以上				60mg×2回/日																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																			
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	28日	クール回数																																					
休薬期間																																							
☆予想される重篤副作用				骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎など																																			
☆副作用対策				減量投与																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			WBC<2000、Hb<8、Plt<70000、T.B>2.0、GOT>190、GPT>220、Cre>1.65																																			

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名=膵臓癌S-IROX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																															
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	80~90	↓																															
3 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																									
体表面積																																			
★S-1 1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																		
1.25~1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																		
1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬		1A	↓																															
	デキサメタゾン		9.9mg	↓																															
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	14日	クール回数																																	
休薬期間																																			
☆予想される重篤副作用				骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎、倦怠感、末梢神経障害、コリン作動性症候群																															
☆副作用対策				減量投与、コリン作動性症候群が出現した症例ではイリノテカン投与前にアトロピン前投与を検討																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			WBC < 2000、Hb < 8、PLT < 50000、T-Bi > 3.0、AST > 190、ALT > 220、Cre > 1.65																															

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名=膀胱癌GEM+エルロチニブ

(対象疾病=)

身長= _____ cm
体重= _____ kg
体表面積= _____ m²
Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 ゲムシタピン(GEM)	1,000mg/m ²	点静	30	↓																																				
2 タルセバ(エルロチニブ)	100mg/body	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
3																																								
4																																								
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン 1A 6.6mg	点静 点静		↓						↓											↓																			
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	28日	クール回数																																						
休薬期間																																								
☆予想される重篤副作用				骨髄抑制、食欲不振、間質性肺疾患、皮膚障害																																				
☆副作用対策				減量投与、中止																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			WBC<2000、PLT<70000、AST又はALT:Grade3																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝肝臓癌EPI(TACE)

(対象疾病＝)

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 動注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 エピルピシン(EPI)	50mg/body	動注	↓																														
2		(肝動脈内に投与)																															
3																																	
4																																	
前投薬																																	
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	3～4週	クール回数	※	※通常3～4クール																													
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用		心筋障害、骨髄抑制、肝・胆道障害 アナフィラキシー様症状、悪心、嘔吐、発熱																															
☆副作用対策		減量・休薬等 適宜血液検査、肝機能・腎機能検査、心機能検査等(総投与量900mg/m ² を超えると、うっ血性心不全を起こすことが多いので注意する)																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	心機能障害、高度の肝機能障害 他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量に達している場合																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝肝臓癌BEV＋アテゾリズマブ

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 テセントリク(アテゾリズマブ)	1200mg/body	点静	60	↓																																
2 アバスチン(BEV)	15mg/kg	点静	90	↓																																
3																																				
4																																				
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				

※テセントリクは、初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。
 ※アバスチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	BEV: 肺出血、喀血(血痰)、血栓塞栓症、ネフローゼ症候群、高血圧性脳症、高血圧性クレーゼ、創傷治癒遅延、消化管穿孔、うっ血性心不全、瘻孔、可逆性後白質脳症症候群、アレルギー反応、間質性肺炎
☆副作用対策	対症療法、休薬、Infusion reactionの対策は適正使用ガイド参照 緊急対応ガイド・適正使用ガイド参照(アバスチン)
☆実施中止条件	

(アバスチン休薬基準)	G: Grade
・発熱性好中球減少、好中球減少G4、血小板減少G4	
・出血(喀血を除く)G2、喀血(血痰を含む)G1/G2	
・蛋白尿G2/3、高血圧G3	
(アバスチン中止基準)	
・血栓塞栓症(静脈系: G3以上、動脈系: G1以上)、	
・出血(喀血を除く)G3以上、喀血(血痰を含む)	
・蛋白尿G4、高血圧G4	
・消化管穿孔/創し開、瘻孔	
・可逆性後白質脳症症候群、心血管毒性	
※詳細は国内臨床試験の基準を参照	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌Q-LV+5FU

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120	↓																														↓	
2 5-FU	600mg/m ²	点静	全開	↓																			↓											↓	
1)開始1時間後に5-FU開始				31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60		
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120						↓																										
2 5-FU	600mg/m ²	点静	全開						↓																										
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	56日	クール回数																																	
休薬期間	(6週投与2週休薬)																																		
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、血小板減少、下痢、口内炎																																	
☆副作用対策		それぞれ投薬(G-CSF、止しゃ剤)で対処。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<2000 (Seg<1000)																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌Q-LV+5FU+BEV

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 ____ 月 ____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120	↓												↓															↓		
2 5-FU	500mg/m ²	点静	全開	↓												↓														↓			
3 アバスチン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90*	↓												x														↓			
1)開始1時間後に5-FU開始																																	
1 レボホリナート(Q-LV)	250mg/m ²	点静	120																														
2 5-FU	500mg/m ²	点静	全開																														
3 アバスチン(BEV)	5mg/kg	点静	90																														
前投薬																																	
投与日程																																	
副作用																																	

1クール期間	56日	クール回数	
休薬期間	(6週投与2週休薬)		

※アバスチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバスチン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバスチン)
☆実施中止条件	生化学項目=WBC<3000 (好中球<2000) その他=末梢神経障害

(アバスチン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバスチン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌 θ -LV+5FU+CPT-11

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日
 今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 レボホリナート(θ -LV)	250mg/m ²	点静	120	↓																															
2 5-FU	500mg/m ²	点静	全開	↓																															
3 イリノテカン(CPT-11)	80mg/m ²	点静	120	↓																															
1) 開始後1時間目より5-FU投与																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																															
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																															
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	28日	クール回数	制限なし																																
休薬期間																																			
☆予想される重篤副作用		白血球減少、嘔気、下痢																																	
☆副作用対策		それぞれ投薬(G-CSF、制吐剤、止しゃ剤)で対処。又は隔週投与に変更																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 2000 (Seg < 1000)、重症の下痢																																	

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名=大腸癌 ℓ -LV+5FU+CPT-11+BEV

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m^2

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名、一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 アバスタチン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																				休										
2 レボホリナート(ℓ -LV)	250mg/m ²	点静	120	↓																														
3 5-FU	500mg/m ²	点静	全開	↓																														
4 イリノテカン(CPT-11)	80mg/m ²	点静	120	↓																														
2)開始後1時間目より5-FU投与																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		

1クール期間	28日	クール回数	
休薬期間			

※アバスタチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・ 高血圧性クリーゼ、可逆性後白質脳症症候群、 ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバスタチン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバスタチン)
☆実施中止条件	生化学項目=WBC<3000 (好中球<2000) その他=末梢神経障害

(アバスタチン休薬基準)	G: Grade
・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3	
(アバスタチン中止基準)	
・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、 喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または 画像所見が認められた場合 ※国内臨床試験の基準を参照	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFOX4

（対象疾病＝_____）

《初回開始日》_____年 月 日

今回〔 _____〕クール目

身長＝_____ cm

体重＝_____ kg

体表面積＝_____ m²

Ccr＝_____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120	↓																																
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
4 5-FU	600mg/m ²	点静	1,380	↓																																
5 レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120		↓																															
6 5-FU	400mg/m ²	点静	全開		↓																															
7 5-FU	600mg/m ²	点静	1,380		↓																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14日	クール回数																																		
休薬期間	(1回/2週)																																			
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、末梢神経症状、血小板減少																																		
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌FOLFOX4 **アレルギーレジメン**

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120	↓																																				
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																				
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
4 5-FU	600mg/m ²	点静	1380	↓																																				
5 レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120		↓																																			
6 5-FU	400mg/m ²	点静	全開		↓																																			
7 5-FU	600mg/m ²	点静	1380		↓																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																				
	ポラミン	1A	点静	↓																																				
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	14日	クール回数																																						
休薬期間	(1回/2週)																																							
☆予想される 重篤副作用		末梢神経障害、骨髄抑制、血管炎・血管痛など持続投与に伴う血管障害																																						
☆副作用対策																																								
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害 末梢神経障害																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFOX4+BEV

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1	アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																
2	レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120	↓																																
3	オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																
4	5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5	5-FU	600mg/m ²	点静	1380	↓																																
6	レボホリナート(ℓ-LV)	100mg/m ²	点静	120	↓																																
7	5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
8	5-FU	600mg/m ²	点静	1380	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
	デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
投与日程																																					
副作用																																					

※アバステンは、1stラインでは5mg/kg、2ndラインでは10mg/kg
 ※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000 (好中球<2000) その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌 FOLFOX4 + BEV **アレキ** レジメン

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 アバステン (BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																			
2 レボホリナート (L-LV)	100mg/m ²	点静	120	↓																																			
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																			
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																			
5 5-FU	600mg/m ²	点静	1380	↓																																			
6 レボホリナート (L-LV)	100mg/m ²	点静	120		↓																																		
7 5-FU	400mg/m ²	点静	全開		↓																																		
8 5-FU	600mg/m ²	点静	1380		↓																																		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																			
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																																			
ボラミン	1A	点静		↓																																			
ファミチジン	20mg	点静		↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							

※アバステンは、1stラインでは5mg/kg、2ndラインでは10mg/kg
 ※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	14日	クール回数
休薬期間	(1回/2週)	

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うつ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレキに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目 = WBC < 3000 (好中球 < 2000) その他 = 末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																				
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間 休薬期間	14日 (1回/2週)	クール回数																																						
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																						
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6<インフューザーポンプ用>

（対象疾病＝ _____ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	14日	クール回数																																				
休薬期間	(1回/2週)																																					
☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																				
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																				
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000（好中球<2,000） 末梢神経障害																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌m-FOLFOX6アレキ-レジメン

（対象疾病 = _____）

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																				
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓ ↓ (2日間連続して投与)																																				
前投薬				↓																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																				
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																																				
ボラミン	1A	点静		↓																																				
ファモチジン	20mg	点静		↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	14日	クール回数																																						
休薬期間	(1回/2週)																																							
☆予想される重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																																						
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC < 3,000 (好中球 < 2,000) 末梢神経障害																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌m-FOLFOX6~~7~~レリキ~~ン~~用<インフューザーポンプ用>

(対象疾病=)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																														
2 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																														
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																														
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																														
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																														
	ポラミン	1A	点静	↓																														
	ファモチジン	20mg	点静	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
	1クール期間	14日	クール回数																															
	休薬期間	(1回/2週)																																
	☆予想される 重篤副作用		末梢神経毒性、血液毒性																															
	☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																															
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000 (好中球<2,000) 末梢神経障害																															

エンボス

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌sLV5FU2<インフューザポンプ使用>

（対象疾病 = ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
2 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
3 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
	1クール期間	14日	クール回数																																					
	休薬期間	(1回/2週)																																						
	☆予想される 重篤副作用		血液毒性																																					
	☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																					
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6+BEV

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1	アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																															
2	レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																															
3	オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																															
4	5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																															
5	5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																													
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																															
	デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																															
投与日程																																				
副作用																																				

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6+BEV<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1	アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																															
2	レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																															
3	オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																															
4	5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																															
5	5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																															
	デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																															
投与日程																																				
副作用																																				

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000 (好中球<2000) その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G:Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6+BEV**アレギーレジメン**

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																				
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																				
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																		
前投薬				↓																																				
	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																				
	ポラミン	1A	点静	↓																																				
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000 (好中球<2000) その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX6+BEVアレルギー-用<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病＝ _____ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																
前投薬																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																																
ポラミン	1A	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000 (好中球<2000) その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌sLV5FU2+BEV

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	90	↓																														
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																														
5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																														
5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓																													
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																														
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	14日	クール回数		※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																														
休薬期間																																		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目=WBC<3000 (好中球<2000) その他=末梢神経障害

(アバステン休薬基準)	G: Grade
・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性	
・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3	
(アバステン中止基準)	
・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3	
・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4	
・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合	※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌sLV5FU2+BEV<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30									
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	90	↓																																						
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																						
5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																						
5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																						
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																						
前投薬 デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																						
投与日程																																										
副作用																																										
1クール期間	14日	クール回数		※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																						
休薬期間																																										

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合 **※国内臨床試験の基準を参照**

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》大腸癌m-FOLFOX6+CET

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																																				
アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120※																																					
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m	点静	120	↓																																				
3 オキサリプラチン	85mg/m	点静	120	↓																																				
4 5-FU	400mg/m	点静	全開	↓																																				
5 5-FU	1,200mg/m	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																		
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																				
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																				
ボラミン	1A	点静		↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

1クール期間	14日	クール回数	1
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ※※、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 エルプラット・5-FU: 白血球減少、血小板減少、末梢神経症状 エルプラット: アレルギー反応
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤なアレルギー反応、骨髄抑制、末梢神経障害等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》大腸癌m-FOLFOX6+CET

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アービタックス(GET)	250mg/m ²	点静	60~120※	↓																																		
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																		
ボララミン	1A	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 エルプラット・5-FU: 白血球減少、血小板減少、末梢神経症状 エルプラット: アレルギー反応
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤なアレルギー反応、骨髄抑制、末梢神経障害等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》大腸癌m-FOLFOX6+CETアレルギーレジメン
 (対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																																		
アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120*																																			
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																		
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静																																			
	ボラミン	1A	点静																																			
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

1クール期間	14日	クール回数	1
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 エルプラット・5-FU: 白血球減少、血小板減少、末梢神経症状 エルプラット: アレルギー反応
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤なアレルギー反応、骨髄抑制、末梢神経障害等

(アービタックス休薬基準) G:Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》大腸癌m-FOLFOX6+CETアレルギ-レジメン

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 アービタックス(GET)	250mg/m ²	点静	60~120※	↓																																
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																																
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静																																		
ボラミン	1A	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2回目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 エルプラット・5-FU: 白血球減少、血小板減少、末梢神経症状 エルプラット: アレルギー反応
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤なアレルギー反応、骨髄抑制、末梢神経障害等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌m-FOLFOX6+PAN

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																																	
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																	
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																	
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓ (2日間継続して投与)																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																	
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																	
ポラミン	1A	点静		↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して
 60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される 重篤副作用	白血球減少、血小板減少、末梢神経障害 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、 電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、末梢神経障害等

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型
(ベクティビックス休薬基準) G: Grade
・G3以上の重度の皮膚障害
・重度の下痢
(ベクティビックス中止基準)
・忍容不能な重度の皮膚障害
・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止)
・G3以上の重度のInfusion reaction
・間質性肺疾患
※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌m-FOLFOX6+PAN<インフューザーポンプ使用>

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																															
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																															
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																															
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																															
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																															
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																															
	ポラミン	1A	点静	↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数
休薬期間	(1回/2週)	

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少、末梢神経障害 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、 電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、末梢神経障害等

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型
 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の重度の皮膚障害
 ・重度の下痢
 (ベクティビックス中止基準)
 ・忍容不能な重度の皮膚障害
 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害
 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止)
 ・G3以上の重度のInfusion reaction
 ・間質性肺疾患
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌m-FOLFOX6+PANアレルギーレジメン<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																														
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																														
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	240	↓																														
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																														
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																														
前投薬																																		
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																														
デキサメタゾン	16.5mg	点静		↓																														
ポラミン	1A	点静		↓																														
ファモチジン	20mg	点静		↓																														
投与日程																																		
副作用																																		

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数
休薬期間	(1回/2週)	

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少、末梢神経障害 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、 電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 <u>適正使用ガイド参照(ベクティビックス)</u>
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、末梢神経障害等

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型
 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の重度の皮膚障害
 ・重度の下痢
 (ベクティビックス中止基準)
 ・忍容不能な重度の皮膚障害
 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害
 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止)
 ・G3以上の重度のInfusion reaction
 ・間質性肺疾患
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌sLV5FU2+PAN<インフューザーポンプ使用>

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																																		
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																																		
5																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																		
	ポラミン	1A	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、 電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型
 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の重度の皮膚障害
 ・重度の下痢
 (ベクティビックス中止基準)
 ・忍容不能な重度の皮膚障害
 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害
 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止)
 ・G3以上の重度のInfusion reaction
 ・間質性肺疾患
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌FOLFOXIRI

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	60	↓																																				
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																				
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																		
5																																								
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、下痢・腸炎、悪心・嘔吐、食欲不振、末梢神経障害、アナフィラキシー	
☆副作用対策		休薬、G-CSF投与、制吐剤の予防投与、UGT1A1検査	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球《1クール目》<2000、《2クール目以降》<1500、PLT《1クール目》<10万、《2クール目以降》<7.5万 アナフィラキシー出現時は原則禁忌	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFOXIRI<インフューザーポンプ用>

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	
-----	--

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																		
1	イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	60	↓																																															
2	レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																															
3	オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																															
4	5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																															
5																																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																															
	デキサメタゾン	9.9mg	点静		↓																																															
投与日程																																																				
副作用																																																				

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、下痢・腸炎、悪心・嘔吐、食欲不振、末梢神経障害、アナフィラキシー	
☆副作用対策		休薬、G-CSF投与、制吐剤の予防投与、UGT1A1検査	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	好中球《1クール目》<2000、《2クール目以降》<1500、PLT《1クール目》<10万、《2クール目以降》<7.5万 アナフィラキシー出現時は原則禁忌	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFOXIRI+BEV

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																		
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	60	↓																																		
3 レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
4 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
前投薬 デキサメタゾン	9.9mg	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
【備考】			
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢・腸炎、食欲不振 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・ 高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、 ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)		
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)		
☆実施中止条件	好中球《1クール目》<2000、《2クール目以降》<1500、 PLT《1クール目》<10万、《2クール目以降》<7.5万 その他＝末梢神経障害		

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、
 喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール
 不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または
 画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFOXIRI+BEV<インフューザーホンプ用>

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30~90※	↓																																		
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	60	↓																																		
3 レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
4 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																		
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																		
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		
【備考】			
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢・腸炎、食欲不振 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・ 高血圧性クリーゼ、可逆性後白質脳症症候群、 ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)		
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)		
☆実施中止条件	好中球《1クール目》<2000、《2クール目以降》<1500、 PLT《1クール目》<10万、《2クール目以降》<7.5万 その他＝末梢神経障害		

(アバステン休薬基準) G:Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、
 喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール
 不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または
 画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI

（対象疾病＝ _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面积＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																							
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
4 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓ (2日間継続して投与)																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg	点静 点静	↓ ↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
投与日程																																																								
副作用																																																								
1クール期間	14日	クール回数																																																						
休薬期間	(1回/2週)																																																							
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、下痢																																																						
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000（好中球<2,000）、摂食困難な下痢。																																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI<インフューザーポンプ用>

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																			
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																			
3 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																			
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2,400	↓																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							
1クール期間	14日	クール回数																																					
休薬期間	(1回/2週)																																						
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、下痢																																					
☆副作用対策		対症療法と減量又は休薬																																					
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC<3,000（好中球<2,000）、摂食困難な下痢。																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+BEV

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1	アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																																		
2	レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																		
3	イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																		
4	5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																		
5	5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
	デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																		
投与日程																																							
副作用																																							

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+BEV<インフューザーホップ用>

（対象疾病＝ _____ ）

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																																	
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																	
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																	
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																	
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》大腸癌FOLFIRI+CET

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回[]クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																																	
アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120*																																		
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																	
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																	
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓	(2日間継続して投与)																															
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																	
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																	
ボラミン	1A	点静		↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

1クール期間	14日	クール回数	1
休薬期間			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 イリノテカン・5-FU: 白血球減少、血小板減少、下痢、嘔気・嘔吐
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
(アービタックス中止基準)
・Infusion Reaction: G3
・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》大腸癌FOLFIRI+CET

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120※	↓																																			
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m	点静	120	↓																																			
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m	点静	120	↓																																			
4 5-FU	400mg/m	点静	全開	↓																																			
5 5-FU	1,200mg/m	点静	1,380	↓	↓	(2日間継続して投与)																																	
前投薬																																							
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																			
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																			
ボラミン	1A	点静		↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2回目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 イリノテカン・5-FU: 白血球減少、血小板減少、下痢、嘔気・嘔吐
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+PAN

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																															
2 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																															
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																															
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																															
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1,380	↓	↓ (2日間継続して投与)																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																															
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																															
ポラミン	1A	点静		↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少、下痢、嘔気・嘔吐 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade ・G3以上の重度の皮膚障害 ・重度の下痢 (ベクティビックス中止基準) ・忍容不能な重度の皮膚障害 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止) ・G3以上の重度のInfusion reaction ・間質性肺疾患 ※国内臨床試験の基準を参照
--

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+PAN<インフューザーホップ用>

（対象疾病＝ _____ ）

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																																	
2 レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																	
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																	
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																	
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																	
	ボラミン	1A	点静	↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して
60分以上かけて点滴静注
※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少、下痢、嘔気・嘔吐 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、 電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade ・G3以上の重度の皮膚障害 ・重度の下痢 (ベクティビックス中止基準) ・忍容不能な重度の皮膚障害 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止) ・G3以上の重度のInfusion reaction ・間質性肺疾患 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+RAM

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 サイラムザ(RAM)	8mg/kg	点静	60	↓																																
2 レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																														
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																
	ボラミン	5mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14日	クール回数		※RAM投与後の観察期間(60分)はinfusion reactionの発現なければ3クール目以降は省略可 ※サイラムザは初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																
休薬期間																																				

【備考】

☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢 血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔創傷治療障害、うっ血性心不全(サイラムザ)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(サイラムザ)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） 末梢神経障害

(サイラムザ休薬基準)	G: Grade
・手術を予定している患者、創傷治癒による合併症	
・症候性G2以上の高血圧、1日尿蛋白量2g以上3g未満	
(サイラムザ中止基準)	
・動静脈血栓塞栓症、G3以上のinfusion reaction、消化管穿孔	
・G3以上の出血、うっ血性心不全、瘻孔	
・可逆性後白質脳症症候群	
・降圧剤治療してもコントロールできない症候性G2以上の高血圧	
・1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+RAM<インフューザポンプ用>

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 サイラムザ(RAM)	8mg/kg	点静	60	↓																																				
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																				
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																				
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																				
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン ボラミン	1A 点静 点静 点静		↓ ↓ ↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	14日	クール回数		※RAM投与後の観察期間(60分)はinfusion reactionの発現なければ3クール目以降は省略可 ※サイラムザは初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																				
休薬期間																																								

【備考】

☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢 血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔創傷治療障害、うっ血性心不全(サイラムザ)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(サイラムザ)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） 末梢神経障害

(サイラムザ休薬基準)	G: Grade
・手術を予定している患者、創傷治癒による合併症 ・症候性G2以上の高血圧、1日尿蛋白量2g以上3g未満 (サイラムザ中止基準) ・動静脈血栓塞栓症、G3以上のinfusion reaction、消化管穿孔 ・G3以上の出血、うっ血性心不全、瘻孔 ・可逆性後白質脳症症候群 ・降圧剤治療してもコントロールできない症候性G2以上の高血圧 ・1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+アブリヘルセプト

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ギルトラップ(アブリヘルセプト)	4mg/kg	点静	60	↓																																
2 レボホリナート(L-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5 5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
前投薬 デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14日	クール回数																																		
休薬期間																																				

【備考】

☆予想される 重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢 血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、下痢 好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔、高血圧 創傷治癒障害、ネフローゼ症候群、血栓性微小血管症
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ギルトラップ)
☆実施中止条件	末梢神経障害

(ギルトラップ休薬基準)	G: Grade
・SEG < 1500、PLT < 75000、G3以上の高血圧	
・1 < UPCR ≤ 2で血尿が認められる場合、またはUPCR > 2の場合	
(ギルトラップ中止基準)	
・動静脈血栓塞栓症、重度のinfusion reaction、消化管穿孔	
・G3以上の出血、瘻孔、可逆性後白質脳症症候群	
・G4または高血圧に伴う臓器障害が認められた場合	
・2mg/kgに減量しても再発した場合	
・ネフローゼ症候群、血栓性微小血管症	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌FOLFIRI+アフリヘルセプト<インフューザーホップ用>

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ギルトラップ(アフリヘルセプト)	4mg/kg	点静	60	↓																																
2 レボホリナート(ℓ-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																
3 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	120	↓																																
4 5-FU	400mg/m ²	点静	全開	↓																																
5 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	14日	クール回数																																		
休薬期間																																				

【備考】

☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少、下痢 血栓塞栓症、infusion reaction、消化管穿孔、出血、下痢 好中球減少症、可逆性後白質脳症症候群、瘻孔、高血圧 創傷治癒障害、ネフローゼ症候群、血栓性微小血管症
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ギルトラップ)
☆実施中止条件	末梢神経障害

(ギルトラップ休薬基準) G: Grade

- ・SEG<1500、PLT<75000、G3以上の高血圧
- ・1<UPCR≤2で血尿が認められる場合、またはUPCR>2の場合

(ギルトラップ中止基準)

- ・動静脈血栓塞栓症、重度のinfusion reaction、消化管穿孔
- ・G3以上の出血、瘻孔、可逆性後白質脳症症候群
- ・G4または高血圧に伴う臓器障害が認められた場合
- ・2mg/kgに減量しても再発した場合
- ・ネフローゼ症候群、血栓性微小血管症

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》大腸癌CPT-11+CET【A法】

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ²)	投与法	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42			
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																																												
2 アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120※																																													
2 イリノテカン(CPT-11)	100mg/m ²	点静	90以上	↓																																												
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン ポララミン	1A 点静 1A 点静		↓																																												
投与日程																																																
副作用																																																

1クール期間	42日	クール回数	1
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ※※、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 イリノテカン: 白血球減少、血小板減少、下痢、 嘔気・嘔吐
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、 投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》大腸癌CPT-11+CET【A法】

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ²)	投与法	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42						
1 アービタックス(CET)	250mg/m ²	点静	60~120※	↓																																															
2 イリノテカン(CPT-11)	100mg/m ²	点静	90以上	↓																																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン ポララミン	1A 点静 1A 点静		↓	↓																																														
投与日程																																																			
副作用																																																			

1クール期間	42日	クール回数	
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症 イリノテカン: 白血球減少、血小板減少、下痢、 嘔気・嘔吐
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、 投与延期、減量アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

(アービタックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=大腸癌PAN単剤

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日
 今回[]クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																																	
前投薬 デキサメタゾン ボラミン	6.6mg 1A	点静 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	

ベクティビックス投与対象患者: KRAS遺伝子野生型
 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の重度の皮膚障害
 ・重度の下痢
 (ベクティビックス中止基準)
 ・忍容不能な重度の皮膚障害
 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害(6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止)
 ・G3以上の重度のInfusion reaction
 ・間質性肺疾患
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌CPT-11+PAN

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ベクティビックス(PAN)	6mg/kg	点静	60	↓																																		
2 イリノテカン(CPT-11)	150mg/m ²	点静	90	↓																																		
3																																						
4																																						
5																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン ポラミン	1A 点静 6.6mg 点静 1A 点静	↓ ↓ ↓																																			
投与日程																																						
副作用																																						

※ベクティビックス投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を通して60分以上かけて点滴静注
 ※ベクティビックス投与の前後は生食で点滴ラインをフラッシュ

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、血小板減少、下痢、嘔気・嘔吐 皮膚障害、間質性肺炎、Infusion reaction、下痢、電解質異常、心臓障害(ベクティビックス)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 適正使用ガイド参照(ベクティビックス)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、消化器症状等

ベクティビックス投与対象患者: RAS遺伝子野生型 (ベクティビックス休薬基準) G: Grade ・G3以上の重度の皮膚障害 ・重度の下痢 (ベクティビックス中止基準) ・忍容不能な重度の皮膚障害 ・投与スキップしても忍容可能まで回復しない皮膚障害 (6週間以内にG2以下に回復しなかった場合は本剤中止) ・G3以上の重度のInfusion reaction ・間質性肺疾患 ※国内臨床試験の基準を参照
--

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 固形癌ペムブロリズマブ

(対象疾病 = _____)

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1 キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg/body	点静	30	↓																											
2																															
3																															
4																															
前投薬																															
投与日程																															
副作用																															
1クール期間	21	クール回数																													
休薬期間																															
☆予想される重篤副作用		Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害等																													
☆副作用対策		対症療法、減量、休薬、Infusion reactionの対策は適正使用ガイド参照																													
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	間質性肺疾患: Grade2、大腸炎: Grade2又は3、肝機能障害: ASTもしくはALTが基準値上限の3-5倍又は総ビリルビン値が基準値上限の1.5-3倍に増加した場合、腎機能障害: Grade2、内分泌障害: 下垂体炎Grade2、甲状腺機能障害: Grade3、高血糖又は1型糖尿病Grade2、Infusion reaction: Grade2、その他の副作用: Grade4 ※詳細は適正使用ガイドにおける中止基準を参照																													

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌ニボルマブ＋イピリムマブ
（対象疾病＝_____）

《初回開始日》_____年____月____日
今回[_____]クール目

身長＝_____cm
体重＝_____kg
体表面積＝_____m²
Ccr＝_____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 オプジーボ(ニボルマブ)	240mg/body	点静	30	↓																																
2 イピリムマブ(ヤール)	1mg/kg	点静	30	↓																																
3																																				
4																																				
前投薬																																				
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21	クール回数	4																																	
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用		Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病 神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症、肝機能障害																																		
☆副作用対策		必要時ステロイド(詳細は適正使用ガイド参照)																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌ニボルマブ[2週毎]

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 オプジーボ [®] (ニボルマブ)	240mg/body	点静	30	↓																															
2																																			
3																																			
4																																			
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	14	クール回数																																	
休薬期間																																			
☆予想される重篤副作用		Infusion reaction、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病 神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症																																	
☆副作用対策		必要時ステロイド(詳細は適正使用ガイド参照)																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Infusion reactionおよびGrade3以上の副作用																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌S-1 + 隔週CPT-11 (IRIS)

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日
 今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 イリノテカン(CPT-11)	100mg/m ²	点静	120	↓																																	
2 S-1	80mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																						
	体表面積																																				
★S-1	1.25m ² 未満	40mg × 2回/日																																			
	1.25 ~ 1.5m ² 未満	50mg × 2回/日																																			
	1.5m ² 以上	60mg × 2回/日																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																	
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
	1クール期間	28日	クール回数																																		
	休薬期間																																				
	☆予想される重篤副作用			骨髄抑制、下痢・嘔吐、腸炎、消化管出血、間質性肺炎																																	
	☆副作用対策			補液、制吐剤																																	
	☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		PS3以上、あるいはCPT-11投与7日前までにPS2であればスキップして次のコースへ 重篤な骨髄抑制、高度な下痢など																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌XELOXアレルギーレジメン

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日
今回〔 〕クール目

身長＝ cm
体重＝ kg
体表面積＝ m²
Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30									
1 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	240	↓																																						
2 ゼロータ(CAP):C法 体表面積	2,000mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	(1)																			
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																																									
1.36～1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																																									
1.66～1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																																									
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																																									
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																						
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																																						
	ボラフィン	1A	点静	↓																																						
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																						
投与日程																																										
副作用																																										
1クール期間	21日		クール回数																																							
休薬期間																																										
☆予想される 重篤副作用			末梢神経毒性、血液毒性、手足症候群																																							
☆副作用対策			対症療法と減量又は休薬 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など																																							
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他		WBC<3,000(好中球<2,000) 末梢神経障害、手足症候群																																							

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌XELOX+BEVアレキ^レレジメン

(対象疾病 =)

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 アバスチン(BEV)	7.5mg/kg	点静	30~90※	↓																														
2 オキサリプラチン	130mg/m ²	点静	240	↓																														
3 ゼローダ(CAP) : C法	2,000mg/m ² ★	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
体表面積				(ゼロータ内服: 第1日目午後~15日目午前)																														
★ゼロータ 1.36m ² 未満	1,200mg × 2回/日																																	
1.36~1.66m ² 未満	1,500mg × 2回/日																																	
1.66~1.96m ² 未満	1,800mg × 2回/日																																	
1.96m ² 以上	2,100mg × 2回/日																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																														
	デキサメタゾン	16.5mg	点静	↓																														
	ボラミン	1A	点静	↓																														
	ファモチジン	20mg	点静	↓																														

投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	21日	クール回数		※アバスチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																															
休薬期間																																			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	末梢神経症状、血液毒性、手足症候群(ゼロータ) 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバスチン)
☆副作用対策	対症療法、減量、休薬、アレキ ^レ に対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバスチン) 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など
☆実施中止条件	生化学項目=WBC<3000 (好中球<2000) その他=末梢神経障害、手足症候群

(アバスチン休薬基準)	G: Grade
・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性	
・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3	
(アバスチン中止基準)	
・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3	
・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4	
・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合	
※国内臨床試験の基準を参照	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 大腸癌XELIRI+BEV

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 アバステン(BEV)	7.5mg/kg	点静	30~90※	↓																																
2 イリノテカン(CPT-11)	200mg/m ²	点静	90	↓																																
3 ゼロータ(CAP):C法	1600mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
体表面積 ★ゼロータ 1.31m ² 未満 900mg × 2回/日 1.31~1.69m ² 未満 1200mg × 2回/日 1.69~2.07m ² 未満 1500mg × 2回/日 2.07m ² 以上 1800mg × 2回/日				(ゼロータ内服: 第1日目午後~15日目午前)																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 1A	点静		↓																																
	デキサメタゾン 6.6mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
【備考】			
☆予想される重篤副作用	骨髄抑制、下痢・嘔吐、血液毒性、手足症候群(ゼロータ) 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クリーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)		
☆副作用対策	対症療法、減量、休薬、前投薬強化、補液 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン) 手足症候群対策・・・保湿剤、ビタミンB6内服など		
☆実施中止条件	生化学項目=WBC<3000 (好中球<2000) PS3以上あるいはCPT-11投与7日前までにPS2であれば、スキップして次のコースへ。重篤な骨髄抑制、高度な下痢など。		

(アバステン休薬基準)	G: Grade
<ul style="list-style-type: none"> ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3 	
(アバステン中止基準)	
<ul style="list-style-type: none"> ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合 	
※国内臨床試験の基準を参照	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌TAS-102+BEV

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 アバスチン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																															
2 ロンサーフ(TAS-102)	約70mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	(L)		↓	↓	↓	↓	↓	(L)																			
体表面積				(ロンサーフ内服:第1日目の夕～5日間、第8日目の夕～5日間)																															
★ロンサーフ 1.07m ² 未満: 70mg/日 1.07～1.23m ² 未満: 80mg/日, 1.23～1.38m ² 未満: 90mg/日 1.38～1.53m ² 未満: 100mg/日, 1.53～1.69m ² 未満: 110mg/日 1.69～1.84m ² 未満: 120mg/日, 1.84～1.99m ² 未満: 130mg/日 1.99～2.15m ² 未満: 140mg/日, 2.15m ² 以上: 150mg/日																																			
投与日程																																			
副作用																																			

※アバスチンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

1クール期間	28日	クール回数	
休薬期間			

【備考】	
☆予想される重篤副作用	消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバスチン)
☆副作用対策	緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバスチン)
☆実施中止条件	☆休薬基準 ☆ Hb: <7.0、好中球数: <1,000、抗血小板数: <50,000、総ビリルビン: ≥2.0、Cre: ≥1.5、末梢神経障害: Grade3以上、非血液毒性: Grade3以上 ☆減量基準 ☆ 好中球数: <500、血小板数: <50,000(ロンサーフ)

(アバスチン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバスチン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》大腸癌エンコラフェニブ+CET

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																															
2 ビラフトビ(エンコラフェニブ)	300mg/body	経口																																	
前投薬 デキサメタゾン ボラミン	6.6mg 1A	点静 点静		↓ ↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

1クール期間	7日	クール回数	1
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ^{※※} 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	

(アービタックス休薬基準) G:Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
 アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》大腸癌エンコラフェニブ+ピニチニブ+CET

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
1 アービタックス(CET)	400mg/m ²	点静	120	↓																																			
2 ビラフトビ(エンコラフェニブ)	300mg/body	経口																																					
3 メクトビ(ピニチニブ)	90mg/body	経口																																					
前投薬 デキサメタゾン ボラミン	6.6mg 1A	点静 点静		↓ ↓																																			
投与日程																																							
副作用																																							

1クール期間	7日	クール回数	1
休薬期間			

※アービタックスは、初回投与時は、120分で点静、忍容性良好であれば2投目以降、60分で点静可能。
 ※※アービタックス投与中は緊急時に十分対応できる治療環境を整え、投与終了後少なくとも1時間は患者の状態に注意すること。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	アービタックス: 重度のInfusion Reaction ※※ 、 重度の皮膚障害、間質性肺疾患、低マグネシウム血症
☆副作用対策	前投与薬(抗ヒスタミン剤等)、投与速度減速、投与延期、減量 アービタックス適正使用ガイド参照
☆実施中止条件	

(アービタックス休薬基準) G:Grade
 ・G3以上の皮膚障害が発現した場合は、G2以下に回復するまで投与延期し、さらに発現回数により、減量し再投与
 (アービタックス中止基準)
 ・Infusion Reaction: G3
 ・治療に影響しコントロール不可の血液毒性以外の副作用(心毒性、肺毒性など): G3
 ・間質性肺炎(呼吸困難等の症状が急激に現れた場合)
アービタックス適正使用ガイド参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX7+BEV

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

	薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1	アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																																	
2	レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																	
3	オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																	
4	5-FU	1,200mg/m ²	点静	1380	↓	↓	(2日間継続して投与)																															
5																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																	
	デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																	
投与日程																																						
副作用																																						

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌m-FOLFOX7+BEV<インフューザーホップ使用>

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																						
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30									
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	30～90※	↓																																						
2 レボホリナート(l-LV)	200mg/m ²	点静	120	↓																																						
3 オキサリプラチン	85mg/m ²	点静	120	↓																																						
4 5-FU	2400mg/m ² /クール	点静	2400	↓																																						
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																						
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																						
投与日程																																										
副作用																																										

1クール期間	14日	クール回数	
休薬期間	(1回/2週)		

※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。
2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。

【備考】	
☆予想される重篤副作用	白血球減少、末梢神経症状、血小板減少 消化管穿孔、創傷治療遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	減量、アレルギーに対しては前投薬の強化 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	生化学項目＝WBC<3000（好中球<2000） その他＝末梢神経障害

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照

化学療法実施計画書 (投与日程)

レジメン名 = 直腸癌5FU+Rx

(対象疾病 = _____)

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35													
1 5-FU	300mg/m ²	持続点滴	1440	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓									
Rx	2Gy/day			↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
前投薬																																																			
投与日程																																																			
副作用																																																			
1クール期間	35日	クール回数		* JCOG副作用判定基準 Grade3、4																																															
休薬期間																																																			
☆予想される重篤副作用		照射後の炎症、下痢、白血球減少、口内炎																																																	
☆副作用対策																																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	Grade4の血液毒性、Grade3、4の非血液毒性																																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝骨転移癌ゾメタ（ゾレドロン酸）

（対象疾病＝）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ゾメタ(ゾレドロン水和物) (腎機能低下時はCcrに応じて減量)	4mg/body	点静	30	↓																															
Ccr(mL/min)	>60	50-60	40-49	30-39																															
推奨用量(mg/body)	4	3.5	3.3	3																															
投与日程																																			
副作用前投薬																																			
1クール期間 休薬期間	※	クール回数	制限なし	※固形癌骨転移による骨病変: 3~4週間間隔																															
☆予想される重篤副作用		急性腎不全、心不全、顎骨壊死、低カルシウム血症																																	
☆副作用対策		薬剤投与中止、対症療法																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	臨床症状にて判断																																	

実施計画書（投与日程） [外来化学療法加算レジメン]

レジメン名=《1~4回目》UCLレミケード

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

--	--

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	投与スケジュール(日目)																									
				1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	85	92	99	106	113	120	127	134	141	148	155
1 レミケード(インフリキシマブ)	5mg/kg	点静	120以上	↓		↓				↓																			
※インラインフィルターを使用																													
前投薬																													
投与日程																													
副作用																													

1クール期間		クール回数	
休薬期間	初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の間隔で投与		
☆予想される重篤副作用		infusion reaction、感染症、脱髄疾患	
☆副作用対策			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

